


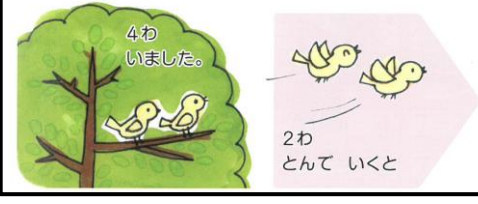

第1学年 算数科学習指導案

1 単元 のこりはいくつ ちがいはいくつ

2 主眼

いろいろな問題場面を図に表したりブロックを操作したりしながら減法（求残）としてとらえ、求残の意味を理解することができる。

3 本時の学習活動 (3/10)

段階	学習活動	具体的な手立て ※評価
知る (説明)	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">のこりはいくつになるかな。</div> <p>○ 本時の内容を確認し、2つの数の関係を捉える。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">2</div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>○○○○ ○ →</p> <p>$5 - 1 = 4$ 答え 4にん</p> </div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">4わ いました。</div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>○○ ○○ →</p> <p>$4 - 2 = 2$ 答え 2わ</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">のこりはひきざんでもとめる。</div>	<p>【困難度査定】</p> <p>◇ 2つの数の関係を捉えきれずに、図やブロックで表すことができない子どもがいることが予想される。</p> <p>○「かえる」や「とんでいく」といったその場からなくなる求残場面での、ブロック操作や図の表し方を確実に習得することができるようにする。</p> <p>○問題場面の2つの数の関係を、①お話づくり②ブロック操作③図に表すことで捉え、立式することができるようにする。</p>
たしかめる (理解確認)	<p>2 習得した考えを使って練習問題を解き、求残の方法を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3 ふうせんが6こありました。3ことんでいきました。 のこりはなんこですか。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="margin-right: 20px;">○○○ ○○○ →</div> <div> <p>$6 - 3 = 3$ 答え 3こ</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; display: flex; justify-content: space-around;"> ① 3 - 2 ② 5 - 3 ③ 9 - 2 </div> <p>○ ブロックを使ってペアで説明し合い、その後全体で確認する。</p>	<p>○求残の方法を確実に理解させるために、「とんでいきました」「のこりは」という言葉を使ってペアで求め方を話す活動を位置づける。</p> <p>※問題を読みながらブロックを操作し、求残の意味を理解することができる。</p>
深める (理解深化)	<p>3 思考を深める問題を解き、考えを交流し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">絵を見て、8 - 3の問題をつくりましょう。</div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>○ 解くための方法や説明の仕方をペアで話し合い、全体交流する。</p>	<p>○ペアで解き方の見通しを持つ際、手がかりとしてブロックを使った説明の仕方のモデルを提示する。</p> <p>○数が変わっても「のこり」はひき算で求められることの理解を深めるために、【数範囲の変更】の問題づくりを設定する。</p>
ふりかえる (自己評価)	<p>4 本時を振り返り、「わかったことや難しかったこと」を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「のこり」のときは、もとあった数からなくなった数をひけばいいことがわかった。 <p>○ 次時の内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>こどもが10にいます。おとこのこは4にんです。おんなのこはなんにんですか。</p> </div>	<p>○理解状況を把握するために、わかったことや難しかったことを発表させる。</p> <p>○次時の内容を確認し、見通しを持たせる。</p>